

筒美京平全曲研究・全曲解説

高護

スニーカーぶる〜す

1979年に筒美京平はジュディ・オングの「魅せられて」で2度目のレコード大賞を獲得した。79年に筒美京平が放ったNo.1ヒットは2曲ある。1曲は「魅せられて」で、もう1曲は桑名正博「セクシャルバイオレットNO1」だった。これが筒美京平の10曲目の1位獲得となる。



平の10曲目の1位獲得となる。

明けて1980年。80年代に入って歌謡界は一気に様変わりしていた。レコード会社だけでなく歌手、作詞家、作曲家、プロデューサーは自身の変化はもちろん、とりまく社会=マーケットは大きな変換機を迎えていた。

77～79年にかけて歌謡界の中

心軸となっていたのはピンク・レディー、沢田研二、山口百恵のトライアングルである。シングル・チャートで9曲連続1位という前人未踏の記録をはじめ、社会現象ともいべき大旋風を巻き起こしたピンク・レディーは1980年9月1日に解散を発表。拮抗していた山口百恵は1980年10月5日に日本武道館のファイナルコンサートで引退。沢田研二は70年代を共にした井上堯之バンドが80年1月24日に解散して自身も4月には胃潰瘍で1ヶ月間入院して活動休止。75年8月の「時の過ぎゆくままに」から続いた阿久悠・大野克夫コンビ作品も79年の「OH!ギャル」を最後に一次解消となった。サザンオールスターズのデビュー曲「勝手にシンドバッド」(78年)というタイトルが沢田研二の「勝手にしやがれ」とピンク・レディーの「渚のシンドバッド」の合体パロディーであることはいうまでもない。

その一方で新人アイドルが華々しく相次いでデビューしていた。テレビの『レッツゴーヤング』(NHK)のサンデーズや『3年B組金八先生』(TBS)といった人気番組や常時100万部を超える『明星』『平凡』といった月刊誌を背景にレコード・デビューの前にすでに一定の人気をベースに新たなファン層が形成されていた。歌番組『ザ・ベストテン』(TBS)の人気もすでに定着していた。

80年4月1日に松田聖子が「裸足の季節」でデビュー。続いて6月には河合奈保子が「大きな森の小さな家」でデビューする。どちらも作詞は三浦徳子で作曲は「裸足の季節」が小田裕一郎、「大きな森の小さな家」は馬飼野康二だった。同じ6月には田原俊彦が「哀愁でいと」でデビューして一気にアイドル・ブームは加速される。田原俊彦の第2弾「ハツとして!Good」は作詞作曲がまだ無名の宮下智だった。

80年に入って筒美京平の主な作品は西城秀樹「悲しき友情」、小柳ルミ子「来夢来人」といったところで、岩崎宏美は「スローな愛がいいわ」「女優」をはじめアルバム『WISH』を発表して筒美京平系列シンガーの中心ともいえる存在になっていた。ペースは安定して作品数も相変わらず多くクオリティも優れた作品が続く。

宮本典子「ラスト・トレイン」やマナ「赤い靴の女の子」、豊島たづみ「もう海へなんか行かない」といった後に通好みの名曲と評価される作品もあったが、新人は島崎博美、円道一成といった顔ぶりで、新しいタイプの「アイドル」は見当



たらない。

77～79年に筒美京平が手掛けた新人アイドルは77年の五十嵐夕紀「6年たつたら」、川崎麻世「ラブ・ショック」、78年の太川陽介「ヨーヨー」、古賀栄子「夕立ち日記」、79年の高見知佳「シンデレラ」で、どれも大きなヒットには至らなかった。メイン・ストリームともいべきピンク・レディー、沢田研二、山口百恵に提供した作品はない。80年に入って筒美京平の手掛けた新人アイドルは皆無だった。

筒美京平の作曲家デビュー以降、キーマンとなったのは村上、草野浩二、泉明良、東元晃、酒井政利、笹井一臣といった顔ぶりで筒美京平の多くのヒット曲にはこれらの制作者が何らかの形で関わっている。この中で唯一筒美京平より年少なのは元ヴィレッジ・シンガーズの笹井一臣だけである。

職業作家は発注があつて作詞または作曲にとりかかる。駆け出しや若手はともかくプロであれば当然である。ディレクターやプロデューサーといった制作者からオファーがあつてそれを基点に作品は成立する。自作自演者とは楽曲の制作過程がかなり異なる。

桑名正博「セクシャルバイオレットNO1」のディレクターである小杉理宇造は1947年生まれで同じくグループ・サウンズのヴィレッジ・シンガーズのベーストだった笹井一臣より3歳年少である。筒美京平にとっては初めての戦後生まれ=団塊世代の制作者だった。

小杉理宇造は春城伸彦の名で馬飼野康二(馬飼野睦)とともに後期GSのブルー・シャルムのドラムスとして69年に「抱きしめたくて」でCBSソニーからレコード・デビュー。4枚のシングルを残して解散、渡米して帰国後に入社した日音での洋楽担当を経て75年にRCAビクター(後のRVC→BMG)に入社。ロビー和田のアシスタントを務めたのちディレクター職に就いた。

ブルー・シャルムのヴォーカルだった桑原一郎は解散後、ソロに転身。「ブラザー・サン・シスター・ムーン」のカヴァーが有名だが、筒美京平と松本隆の初作品である「谷間の百合」(74年6月)のシンガーとしても記憶される。その後シンガー・ソングライターの野人(桑原野人)としてRCAビクターからアルバムを2枚リリース。制作は小杉理宇造でデビュー・アルバムの編曲は全曲馬飼野康二だった。

筒美京平と小杉理宇造の初作品は和レゲエの名盤として再評価の高い石黒ケイ「恋人時間」で77年2月リリース。シングル・ジャケットにはプロデューサー・筒美京平 ディレクター・小杉理宇造とクレジットされている。

続いて筒美京平と小杉理宇造による第2作が6月リリースの桑名正博のソロ・デビューシングル「哀愁トゥナイト」である。作詞は筒美京平の指名で松本隆。歌詞先行で制作された。

筒美京平のキーマンとなった制作者のうち、草野浩二、泉明良はレコード会社生え抜きの制作者で楽器演奏(譜面)も含めて音楽経験の豊富なスタジオ・ワーク全般にも長けた典型的なハウス・ディレクターで、笹井一臣も同様である。映画会社に例えれば監督と同じ立場である。村上司や酒井政利はヒット曲に対する嗅覚と執着を武器に多くのヒットを生み出したミュージック・ビジネスマンともいべきプロデューサーである。

小杉理宇造は前述の制作者とは異なる新たなタイプの制作者である。ヒットに対する嗅覚と執着は人一倍で、かつ英語に堪能で洋楽担当の経験もあり、ミュージシャン出身でレコーディング時に音楽制作の現場での段取りや進行も含めて実稼働できるという宣伝マンでありディレクターであり、ハイブリッドなA&Rである。

ジャニーズ事務所は不世出のマネージャーでありプロデューサーであるジャニー喜多川が姉のメリー喜多川を伴って設立した音楽プロダクションである。現在の状況からは想像しづらいが、ジャニーズ〜フォーリーブス〜郷ひろみという60〜70年代に一時代を築いたジャニーズの男性アイドルも70年代後半は冬の時代で大きなヒットからは遠ざかっていた。

『3年B組金八先生』は79年10月にスタートした学園ドラマで、80年3月28日放送の最終話の視聴率は39.9%を記録した超人気番組だった。ミリオン・セラーを記録した主人公武田鉄矢の海援隊「贈る言葉」も同番組からのヒット曲である。

中学生役で出演したのは杉田かおる、鶴見辰吾、三原順子、つちやかおり、小林聡美といった錚々たる顔ぶれで、現在のジャニーズ事務所の代表である藤島ジュリー景子も生徒役で出演していた。田原俊彦、近藤真彦、野村義男もこの番組がデビュー作で『3年B組金八先生』を契機にして田原俊彦、近藤真彦、野村義男の3人の人気は沸騰し「たのきんトリオ」と命名される。命名者はジャニー喜多川だった。

たのきんトリオから最初にレコード・デビューしたのは田原俊彦でポニー・キャニオンからの第1弾「哀愁でいと」はチャートの2位を記録、続く第2弾「ハッとして! Good」(80年9月)は一気にNo.1となり予想を上回る大ヒットとなった。続く近藤真彦は各社激しい争奪戦を繰り広げて、最終的に小杉理宇造のRVCが獲得した。

「スニーカーぶる〜す」は上記のような状況と人物を背景に生み出された楽曲である。そして80年代に新たな全盛期を迎える筒美京平の大きなターニング・ポイントとなったきわめて重要な作品である。

近藤真彦のデビュー曲「スニーカーぶる〜す」はエネルギーで若さに満ち溢れた楽曲である。

幕開けはエレキ・ギターの「♪ジャカジャ〜ン」という派手なコード弾き。「ピーター・ガン」風のリフはこの年公開された大ヒットした映画「ブルース・ブラザーズ」からの着想だろう。筒美京平には珍しくパワー・コードやディストーションを交えたロック・テイストのエレキ・ギターが全体に響きわたるが、ロック風味のアレンジは馬飼野康二で、起用自体がこのあたりの方向性が狙いと考

えられる。「ピーター・ガン」風のベースとギターのリフにプラスで同じフレーズを重ねるのも音数の多い馬飼野康二ならではの、厚みのあるサウンドの醍醐味が味わえる。

バック・コーラスが「♪ Stormy Stormy Lonley Night」「♪ BABY」と圧巻ともいえる迫力で曲を盛り上げる。一聴して只者でないことはわかるが、メンバーは山下達郎、竹内まりや、EPOといったRVCのairレーベル・オールスターズともいべき錚々たる顔ぶれである。

馬飼野康二の指名は筒美京平によるものである。馬飼野康二は西城秀樹の「ちぎれた愛」「傷だらけのローラ」といったヒットで、70年代中盤以降はすでにヒット作曲家として広く認められていたが、筒美京平・小杉理宇造の勝負作に編曲のみの仕事を快諾したという。

「スニーカーぶる〜す」は一度完成した作品を大幅に修正したものである。最初のヴァージョンは82年の第6弾シングル「ふられてBANZAI」のカップリング曲としてリリースされているので広く知られている。編曲は戸塚修で、小杉理宇造にとっては桑名正博の作品での実績もある信頼のおけるアレンジャーである。近藤真彦の主演映画第2作『ブルージーンズ・メモリー』のオリジナル・サウンド・トラックのアルバムに「スニーカーぶる〜す」の歌詞入りのインスト・ヴァージョンが収録されているが、こちらは最初のヴァージョンと同じメロディーが使用されている。

レコーディングは完了したものの小杉理宇造は改めて出来栄を聴くとインパクトが弱いのではないかと危惧。悩みに悩んだ末に曲作りもレコーディングも全面的にやり直す決断をしたという。

これは並大抵の判断ではない。取り巻く状況や関わる人物をすべて見渡しても、簡単に済む話ではないことは容易に理解できる。そこを押し通した小杉理宇造のメンタルの強さには驚かされるが、応じた筒美京平や他のスタッフもプロフェッショナルである。

筒美京平が馬飼野康二を編曲に指名してそれを快諾したことも、山下達郎、竹内まりや、EPOが新人アイドルのバック・コーラスに参加したのも、エネルギーで若さに満ちた叫ぶように歌う情熱に溢れる近藤真彦の歌唱も、すべては小杉理宇造の熱意であり、原動力はヒットへのこだわりであり執着である。

歌詞は全面的に手直しとなり、ABパートはまったく別の歌詞になっている。残ったのはDパートとサビの「♪ Baby スニーカーぶる〜す」くらいで、特にBの「♪ Zig Zag Zag Zig Zag Zag」は元のヴァージョンの「♪ 目の前でいきなりUターン」とは符割りも含めてまったくの別物に変更されている。「♪ ラジオがすすり泣いてた」ではじまり、「♪ 昔の彼のところに 戻りたいの泣かれて」というセンチメンタルな設定が、「♪ 別れの電話 取り消せよ」「♪ 青春の手前で裏切りはないぜ〜」とマッチの持つナイヴながむしやさが程よく増幅されている。

「♪ Zig Zag Zag Zig Zag Zag」はスタジオのレコーディング現場で小杉理宇造がどうにかフレーズをハメこんでレコーディング後に筒美京平に承諾してもらったという逸話がある。タイムは3分53秒で最初のヴァージョンは4分32秒なので30秒以上短くされていて、特にイントロは10秒以上短縮されている。BPMは148とかなりのアップ・テンポである。

構成はイントロ10.5→A8→A'8→B8→B'10→C8→C'8小節で1楽節。2番はブリッジ(A)8→B8→B'10→C8→C'8→D8×2→C8→C'8。Bは「♪ Zig Zag Zag Zig Zag Zag」でサビのCが「♪ Baby スニーカーぶる〜す」。D=大サビに「♪ 街角に雨」が登場する。構成要素の多い聴きどころ満載のまさに「シングル盤」である。

スニーカーぶる～す (3:51)

松本 隆作詞／筒美京平作曲／馬飼野康二編曲

ペアでそろえたスニーカー
 春夏秋冬と駆け抜け
 離れ離れの冬が来る
 5分だけでもいいから
 俺の話を聞いてよ
 別れの電話取り消せよ
 Zig Zag Zag, Zig Zag Zig Zag一人きり
 青春の手前で裏切りはないぜ
 Zig Zag Zag, Zig Zag Zig Zag二人きり
 このままで背中からずっと抱いていたい

Baby スニーカーぶる～す
 Baby この世界中
 Baby 涙でびしょ濡れ
 Baby スニーカーぶる～す
 Baby 俺達はまだ
 Baby 青春知らずさ

Zig Zag Zag, Zig Zag Zig Zag一人きり
 うつむいたまぶたに最後の口づけ
 Zig Zag Zag, Zig Zag Zig Zag二人きり
 偽りのやさしさで俺を泣かせるなよ
 街角は雨 ブルースのようさ
 胸でFuzz Guitar
 かきならすようさ

Baby スニーカーぶる～す
 Baby お前が好きさ
 ※ Baby 別れても好きさ
 Baby スニーカーぶる～す
 Baby 俺達はまだ
 Baby 青春知らずさ

(※Repeat)

レコーディング・エンジニアはRVCの益本憲之。

キーはAm。Aメロはハーモニック・マイナーだが、他のパートは基本的にブルーノート・スケールが使用されている。音域はトップがファ#で下もファ#でちょうど1オクターブ。広いレンジではないが、筒美京平の作曲術のすこさは音域の狭いシンガーであっても決して平坦に聴こえない=聴かせないところである。

松本隆は70年代には純文学の「詩人」と職業としての「作詞家」との狭間で常に悩んでいた表現者である。70年代を飾った阿久悠やなかにし礼は出自も含めて、そのような葛藤が無かったとはいわないが、悩む以前に職業意識が強かっただろう。星野哲郎や山上路夫といった『新歌謡界』出身の作詞家にとっては作詞家になることそのものが目標だったのである。

同じ問題で悩み続けたのが西條八十である。戦前戦後における最大の作詞家西條八十は日本における象徴派詩人の第一人者であり、童謡「かなりあ」の

スニーカーぶる～す

松本 隆作詞／筒美京平作曲／戸塚 修編曲 (4:35)

ラジオが すずりないてた
 膝を抱えた Roomで
 君の言葉が きこえない
 昔の彼のところに
 戻りたいのと 泣かれて
 これじゃ 格好もつかないよ

目の前でいきなり Uターン
 らしくない瞳が うるんでいたっけ
 やさしさが涙に Uターン
 懐るなよ背中から 君を抱いていたい

※Baby つぶやくように
 Baby スニーカーぶる～す
 Baby やけに尾を引くぜ
 Baby 涙が歌う
 Baby スニーカーぶる～す
 Baby 孤独の叫びさ

心までいきなり Uターン
 いい男だったぜ 確かに前の彼
 とまどいが吐息に Uターン
 泣かされて戻っても 二度は救えないぜ

薄い毛布に くるまり
 BOZのレコード 聴いてた
 寒い夜明けが なつかしい

街角は雨 ブルースのようさ
 胸で Fuzz Guitar
 掻きならすようさ

(※Repeat)



作者で、フランスのソルボンヌ大学へ留学時にはポール・ヴァレリーらと交遊。

帰国後には早稲田大学文学部の教授を勤めた文学者である。

一方で服部良一とのコンビによる「青山脈」「蘇州夜曲」の作詞者で、「ゲイシャ・ワルツ」も「王将」も西條八十の作詞である。純文学者西條八十の葛藤は生きた時代背景も含めて大きかったことが想像できるが、作詞家としての原動力のひとつが「稼ぐ」ことだったという。これは西條八十の著作『唄の自叙伝』(1956年改訂版日本図書センター刊)に興味深い記述がある。

1969年に20歳で松本零の名でエイプリル・フールのドラマー兼作詞家としてデビュー。はっぴいえんどを経て風都市でのプロデューサーとしての活動と並行して、作詞家としては新興楽譜(シンコー・ミュージック)と専属契約。初ヒットとなったチューリップ「夏色のおもいで」や矢沢栄吉に提供した「サブウェイ特急」といった作品で、こだわりのある作詞家として一部のニューミュージック系のリスナーに支持されていた松本隆を歌謡曲の広大で深遠な世界に導いたのは筒美京平である。

松本隆は前述の「谷間の百合」のあと、74年にはアルフィー「夏しぐれ」、オフコース「忘れ雪」という後に大成するニューミュージックのグループの作品で作詞に起用され、太田裕美のデビュー・シングル「雨だれ」で編曲の萩田光雄とともに抜擢される。これが台頭しつつあったニューミュージックに対しての筒美京平のアプローチで、続く75年の森山良子「恋模様」、ピーカブー「イエロー・サブマリンの刺繍」も同様である。

「セクシャルバイオレットNO1」は松本隆にとって初のNo.1ヒットである。75年の大ヒット曲太田裕美の「木綿のハンカチーフ」と続く「赤いハイヒール」は惜しくも2位止まり。「木綿のハンカチーフ」は、もとはアルバム『心が風邪をひいた日』の中の1曲をシングル用にテンポ・アップしてアレンジを強化して録り直した楽曲である。

77年に原田真二「ていんず・ぶるーす」があり、筒美京平とは77~78年にかけて野口五郎「沈黙」や中原理恵「東京らばい」を経て桑名正博「哀愁トウナイト」が小杉理宇造との初作品である。翌79年の「セクシャルバイオレットNO1」で、遂にヒット曲を生み出すための作詞家として覚醒した。

これが松本隆にとっての「スニーカーぶるーす」誕生までの重要な伏線である。同時に翌年の寺尾聰「ルビーの指環」、大滝詠一『A LONG VACATION』、松田聖子「白いパラソル」「風立ちぬ」によって大ヒットを連発。作詞家としての立場を揺るぎのないものにするための大きな試金石だったのである。

「スニーカーぶるーす」は予想を上回る大ヒットとなり、松本隆にとって、小杉理宇造にとって、そしてジャニーズ事務所にとって初のミリオン・セラーとなった。そこからの快進撃は近藤真彦のセカンド・アルバム『ギンギラギンにさりげなく』の裏ジャケットに掲載された雄弁なコピーの数々にある通りである。

筒美京平は「スニーカーぶるーす」をはじめ翌81年の「ブルーージェーンズ・メモリー」から87年の「泣いてみりゃいいじゃん」まで近藤真彦に提供した作品の11曲がチャートのNo.1を獲得。近藤真彦は筒美京平にとって最も多くのNo.1ヒットを獲得した最重要シンガーである。

翌81年からは松本伊代「センチメンタル・ジャーニー」にはじまる80年代アイドル・ポップスにおいて、早見優「夏色のナンシー」、小泉今日子「まっ赤な女の子」といった傑作を量産することになる。2021年4月12日

スニーカーぶるーす
初登場第1位 130万 オリコン最高順位 ①
55-12・12発売

ヨコハマ・チーク
初登場第1位 90万 オリコン最高順位 ①
56-3・12発売

ブルーージェーンズメモリー
初登場第1位 90万 オリコン最高順位 ①
56-9・5発売

ギンギラギンにさりげなく
初登場第1位 80万(11月1日現在) オリコン最高順位 ①
56-9・30発売

●アルバム
Matchy Thank 愛 You
45万 オリコン最高順位 ①
56-3・5発売 RHL-8016

Birthday (Matchyバースデー記念)
17万 オリコン最高順位 ⑥
56-7・19発売 RHL-1101

ブルーージェーンズメモリー
30万(11月1日現在) オリコン最高順位 ②
56-9・5発売 RAL-8505

全米記録! スニーカーぶるーす 近藤真彦

予約20万枚超す

1月に初公演も

5万大歓声

予約20万枚超す

1月に初公演も

5万大歓声

新人で初登場第1位は史上初!!

3回初登場第1位は史上初の大快挙!!

81上半期第1位!!

レコード界の記録を続々更新

年月日	曲名	品番	作詞	編曲	アルバム	CHART	メーカー
1980/12/12	スニーカーふる～ず	RHS-16	松本隆	馬飼野康二		1	
	ホンモク・ラット		伊達歩	戸塚修			
	さよならスウィング		伊達歩	戸塚修			
1981/ 3/ 5	ためいき倶楽部	RHL-8016	松本隆	戸塚修	Thank 愛 You	1	
	ザマーウェーブ		松本隆	戸塚修			
	愛しきハイスクール		松本隆	戸塚修			
1981/ 3/12	ヨコハマ・チーク	RHS-27	松本隆	馬飼野康二		2	
	嘆きのリンダ		松本隆	戸塚修			
1981/ 6/12	ブルージーンズ・メモリー	RHS-37	松本隆	馬飼野康二			
1981/ 7/19	抱擁LOVE	RHS-1001～2	松本隆	馬飼野康二			
	理由なきロック		伊達歩	筒美京平	ブルージンズメモリー		
1981/ 9/ 5	流線スピリッツ	RAL-8505	伊達歩	戸塚修			
	恋のローラースケート		松本隆	戸塚修			
1981/ 9/30	ギンギラギンにさりげなく	RHS-47	伊達歩	馬飼野康二			
	KOでKO		松本隆	筒美京平			
	ひとりぼっちのバースデー		松本隆	戸塚修			
1981/12/16	ルイのバラード	RHL-8301	伊達歩	筒美京平	ギンギラギンにさりげなく	1	
	ワイルド・キャンサー		康珍化	筒美京平			
	今夜はおまえと		伊達歩	大村雅朗			
	傷だらけのアベニュー		伊達歩	筒美京平			RVC
1982/ 1/ 7	情熱☆熱風・せれな〜で	RHS-54	伊達歩	大谷和夫		1	
	あはよ ポニーテール		康珍化	大谷和夫			
1982/ 3/31	ふられてBANZAI	RHS-64	松本隆	後藤次利		1	
	憧れのリゾートクイーン		松本隆	後藤次利			
1982/ 7/18	チャイナ・タウン	RHL-8308	齊門はし羅	筒美京平	BANZAI	2	
	ラストチャンスは俺にくれ		松本隆	後藤次利			
	カリブの嵐		松本隆	後藤次利			
1982/ 9/30	ホレたぜ！乾杯	RHS-82	松本隆	後藤次利		1	
	カモン・ロックンロード		伊達歩	筒美京平			
1983/ 1/20	ミッドナイト・ステーション	RHS-87	松本隆	佐久間正英			
	天国でプラトニック		松本隆	佐久間正英			
1983/ 4/ 1	SEE YOU AGAIN	RHL-8333	松本隆	馬飼野康二	RISING	2	
	ハート・クラッシュ		松本隆	馬飼野康二			
1983/ 7/15	ためいきロ・カ・ビ・リー	RHS-110	松本隆	松下誠		1	
	Hey Girl		松本隆	大谷和夫			
1983/11/ 1	ロイヤル・ストリート・フラッシュ	RHS-125	松本隆	松下誠		1	
	一番野郎		売野雅勇	松下誠			
1984/ 3/ 1	ムシャクシャするぜ	RHS-141	売野雅勇	松下誠		1	
1987/ 9/18	泣いてみりゃいいじゃん	07SH-1987	康珍化	馬飼野康二		1	
1988/ 4/ 8	MADE IN JAPAN	07SH-3030	松本隆	MARK DAVIS		3	
	BABY IT'S YOU		松本隆	清水信之			
	5年たったら		康珍化	大谷和夫			CBSソニー
1988/11/ 2	KISS	28AH-5137	松本隆	清水信之	JAPAN	2	
	涙とまれ		康珍化	戸塚修			
1989/ 7/ 5	いいかげん	07SH-3306	森浩美	白井良明		11	
2007/ 1/24	上海嘉情	SRCL-6450	H. U. B.	石塚知生			SMR
	情熱ナミダ		西寺郷太	CHOKKAKU			